

明治31年、田中安次郎さんがメリヤスを輸出する会社として大阪市に立ち上げた『田中安商店』が原形。現在は、衣料品製造の素材・企画提案、パターン作成、生産などを行なう6つのグループ会社があり、その1つが『安泰アパレル株式会社』です。



アメリカ製の大型裁断機を操作し、正確に手際よく生地を裁断

安泰アパレル株式会社は、安泰ニッ株式会社 米子工場と黒坂工場が1つになり、平成15年に設立されたもの。溝口小学校前の安泰アパレル株式会社本社工場(旧米子工場)は、昭和41年7月に開設したもので、衣料品製造における、裁断、縫製を行なう安泰ニッグループの主力工場の一つです。当初は、鳥取県立日野産業

裏打ちされた「感性」で勝負 ハイレベルな技術と、独自の工法に

安泰アパレル株式会社

高校定時制の旧校舎を活用し、肌着を製造していましたが、平成元年に改築し、現在の教会風の新しい工場になりました。

日本ブランドの高級品を生産

「4年前までは、量販店向けの商品を主に生産していたが、現在は、『感性』を重視し、百貨店や専門店向けのデザイン性に優れた男性用の高級ニットシャツを主力商品にしています」と津島専務。立体裁断などのハイレベルな技術を駆使し、日本ブランドの高級品として香港、中国本土に輸出もしています。

独自の工法を組み合わせ

製造方法については、様々な工法を研究し、現在ではTSS(トヨタソーイングシステム)を元に自社が開発した安泰ソーイングシステム(ASS)を採用しています。これは、1人が3〜4台のミシンを操り複数人の工程を受け持ち、4〜5人のグ

ループで商品を完成させるもの。従来の大量生産のように、大勢で1つの工程だけを受け持つ方式だと、商品の完成に2〜3日かかってしまいます。しかし、このシステムだと、数分後には1枚が完成。簡単な縫製であれば、1日に1人あたり60〜80枚を仕上げられる」と自社開発のシステムについて語る専務の目は自信に満ち溢れていました。

また、ここでは消費者から直接注文を受けて製造する、オーダーメイド方式も採用しています。この方式は、売れ残りが少ないため無駄が無く、環境に配慮した製造方法として注目

されています。その工法はセル生産システムといって、1人が全ての工程を受け持つて製品を作るもの。この方法で製造できる方は、縫製経験が20数年のベテランオペレーターだけのため、「会社では、次の世代に技術を継承するため、新たな人材を求めたいです」とのこと。

地域の安定的な雇用の場として

社屋の周辺には、溝口保育所・溝口小学校・伯耆溝口駅やスーパーマーケットなどがあり、通勤や育児、子どもへの送り迎えにも便利な立地でもあり、従業員の定着率が高い職場となっています。『社員が自信と誇りを持ち、安心して働ける企業』という会社の基本方針のもと、人材育成と身近な雇用の場の確保による地域貢献を果たしています。

代表取締役社長	大坪 武彦
代表取締役	1000万円
設立(米子工場)	昭和41年7月
社員数(米子工場)	82人(うち地元採用66人)
所在地	伯耆町溝口298番地
電話番号	62-0531
ホームページ	http://www.antai.co.jp/

まちないんど

柘水高原リフトと 柘水ワールドステーション

昭和60年12月にオープンした柘水高原リフトは、春は桜、夏は弓ヶ浜半島を望む絶景、秋はマツムシソウと紅葉、冬はスキーと、四季折々楽しめる伯耆町を代表する観光施設の一つです。

これからのスキーシーズンは、駐車場無料、子どもたちが安全に遊べるプチ大山やキッズパークの設置など、柘水高原を100%楽しめる工夫が満載です。

初心者やファミリーも安心して遊べるワイドな扇形ゲレンデを、ぜひお楽しみください。

四季折々の楽しみ 伯耆町の観光拠点

スキー場の下にあるスイスの山小屋風の建物が、平成5年にオープンした柘水ワールドステーションです。ここでは、観光案内所や無料休憩所がある他、レストランや会議室も兼ね備えた、多目的に活用できる施設です。

ここを管理するエムケイ開発株式会社は、町民へのリフト料金の半額サービスや駐車場完全無料化、



期間限定の営業時間延長、バルーンアート・科学工作などの趣向を凝らしたイベントを多数実施。顧客満足度アップを目指し、伯耆町の観光振興に貢献しています。

「子どもたちの応援団」学校支援地域本部

伯耆町教育委員会では、今年、「町民みんなを支える学校 みんなで育てる伯耆町の子ども」をスローガンに、学校支援地域本部を立ち上げました。

学校支援地域本部は、子どもたちや学校の応援団として、教育環境の整備支援と教育活動の支援を行なうためのボランティアバンクを運営しています。

現在、ボランティアバンクには、60名以上の方に登録していただき、各学校からの依頼に応じ、様々な支援活動が盛んに行われていますので、ご紹介します。

10月の活動から



ミシンの学習支援(岸本小)



書写学習支援(溝口中)



陶芸体験支援(日光小)

伯耆町学校支援地域本部では、引き続き学校支援ボランティアを募集しています。町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

教育委員会事務局 総務学事室
☎62-0927